

適応外使用医薬品の使用申請書

責任者 麻酔科 紺崎 友晴

薬剤	ピトレシン注射液20	規格 20単位	<input type="checkbox"/> 院内調剤が必要									
対象	ノルエピネフリン投与でも平均動脈圧が不十分な敗血症性ショック、血液分布異常性ショックの成人											
		ID	氏名									
申請理由	<p>合成バソプレシンであるピトレシンの適応は、下垂体性尿崩症、下垂体性又は腎性尿崩症の鑑別診断、腸内ガスの除去（鼓腸、胆のう撮影の前処置、腎盂撮影の前処置）、食道静脈瘤出血の緊急処置であるが、Surviving Sepsis Campaignには、「平均動脈圧（MAP）値が不十分なノルエピネフリン投与中の敗血症性ショックの成人に対しては、ノルエピネフリンの用量を増量する代わりにバソプレシンを追加することを提案する（弱い、中等度の質のエビデンス）。」と記載されている。</p> <p>日本版敗血症診療ガイドラインでもエビデンスの確実性が非常に低いGRADE 2Dとして弱く推奨している。麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドラインでも、血管拡張性ショック、敗血症性ショックに対して、ノルアドレナリンで十分な昇圧効果が得られない場合、ノルアドレナリン投与下に 0.03単位/min の注入速度で持続静注する。と記載されている。</p> <p>すでに臨床現場で広く使用されており、平成23年に社会保険診療報酬支払基金の審査情報提供委員会で使用を認められている。</p>											
問題点と対策	<p>有害事象として四肢虚血が増える可能性がある。2単位/時を超える使用は行わない。</p> <p>集中治療室または同等の監視体制が可能な場所で、心電図モニターと観血的動脈圧測定を行い、常時監視下でのみ使用する。投与に際してシリンジポンプを使用して厳密なコントロールを行う。</p>											
根拠となる文献	<table border="0"> <tr> <td>Surviving Sepsis Campaign</td> <td>Society of Critical Care Medicine</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>日本版敗血症診療ガイドライン</td> <td>日本集中治療医学会</td> <td>2020</td> </tr> <tr> <td>麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン 第3版4訂</td> <td>日本麻酔科学会</td> <td>2019</td> </tr> </table>			Surviving Sepsis Campaign	Society of Critical Care Medicine	2021	日本版敗血症診療ガイドライン	日本集中治療医学会	2020	麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン 第3版4訂	日本麻酔科学会	2019
Surviving Sepsis Campaign	Society of Critical Care Medicine	2021										
日本版敗血症診療ガイドライン	日本集中治療医学会	2020										
麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン 第3版4訂	日本麻酔科学会	2019										